

1. Coinhiveの概要 (Coinhive事件とは)

• Coinhiveとは

“サイトの運営者が、そのサイトの閲覧者に**仮想通貨をマイニング**させ、収益を得ることのできるツール”

※マイニング(mining:採掘)...自分のデバイスの処理能力を提供し、成果をあげると仮想通貨による報酬が支払われる。

広告を表示することなく、サイトの閲覧者から直接的にリアルタイムで収益が得られる！



• Coinhive事件の流れ

2017年9月あるウェブデザイナーの男性が自身のサイトにCoinhiveを設置。



2ヶ月後に別のエンジニアから「運用にはサイト閲覧者の同意が必要ではないか」と指摘され、その後Coinhiveをサイトから削除。



3ヶ月後の2019年2月に神奈川県警が男性の自宅を家宅搜索し、その後横浜地検が不正指令電磁的記録取得・保管の罪で略式起訴、横浜簡裁が罰金10万円の略式命令を出した。これに対し男性側が不服として正式裁判を請求した。

2. Coinhiveの賛成論、反対論

- ・ ＜賛成＞ 広告を入れる必要がなくなる

- ・ “「多くのWebサイトには、押しつけがましくて邪魔な広告が表示されている。その 代替手段を提供することが、われわれのゴールだ」”

- ・ ＜反対＞ マルウェアの一種だという声

※マルウェア...利用者やコンピュータに害を成す不正な動作を行うソフトウェア

- ・ Coinhiveの設置は、サイト閲覧者などのCPUを許可なく使うことになる
→悪用されるとマルウェアになりかねない
 - ・ “悪意あるサイトやChrome拡張機能などにCoinhiveが仕込まれ、マルウェア開発者の収益源になっている”

- ・ Coinhive事件の裁判では..

地裁では**無罪**、東京高裁では(逆転)**有罪**！

3. まとめ

- ・裁判での争点

「反意図性」と「不正性」

- ・過去の事例がないため(法律も不十分)、判決は難しい
- ・その人の人間性や倫理観での判断になってしまう可能性

- ・情報リテラシーの必要性

情報分野は技術が発展している一方、法律の整備が追いついていない

→利用者側が情報リテラシーを身につける必要がある

ご清聴ありがとうございました

参考文献

・CryptoTimes「CoinHive事件とは？経緯や問題点、裁判における主張などを徹底解説！」

(<https://crypto-times.jp/whatiscoinhive/>)

・IT用語辞典e-words「マルウェア」

(<http://e-words.jp/w/マルウェア.html>)

・ITmediaNEWS「話題の「Coinhive」とは？ 仮想通貨の新たな可能性か、迷惑なマルウェアか」

(<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/1710/11/news084.html>)

・ITmediaNEWS「Coinhive裁判、逆転有罪の根拠は？ なぜ無罪判決は覆ったのか」

(<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2002/10/news130.html>)